

中山 竜一
法学研究科・教授

【研究】

- ・論文「法と感情」が問いかけるもの——全体的に、そして個別的に」(日本法哲学会編『法哲学年報2021 法と感情』、有斐閣、2022年、104-112頁)を執筆、公表した。
- ・論文「カントの法=政治哲学における「他者」と現在」(『法の理論 41』、成文堂、2023年、193-212頁)を執筆、公表した。
- ・日本法哲学会2022年度学術大会の全体企画「現代法実証主義」において、総括コメント報告「法実証主義の社会的機能」を行った(2022年11月13日、中央大学後楽園キャンパス)。
- ・ジョン・ロールズ、中山竜一訳『万民の法』(岩波書店、2006年)に、若干の修正と新たな後書きを加え、岩波現代文庫版として刊行した(岩波書店、2022年)。

【教育】

- ・法学部では「法理学」「法学の基礎」(オムニバス科目:うち6回を担当)「演習1・2」「法政導入演習」を、大学院法学研究科では「法理学」「法理学特殊講義」を、法科大学院では「法理学」「法理論」(オムニバス科目:うち5回を担当)を、それぞれ担当した。
- (1) 学部「法学の基礎」については、CLEで講義内容項目のレジュメを事前配付した上で対面講義、(2) 学部「法理学」については、ハイブリッド環境が整った教室を確保できなかったため、CLEにて講義内容項目のレジュメを事前配付した上で Blackboard Collaborate Ultra を用いたオンライン授業、(3) 大学院法学研究科の「法理学」「法理学特殊講義」では、日本語・英語の文献講読と討議、法科大学院「法理学」「法理論」では、あらかじめCLEで指示した Reading Assignment の読み込みを前提とした対話形式の対面授業といったように、教育目的に合わせて授業の形式と内容を工夫した。

【管理運営】

- [全学]入試委員会委員、ファカルティ・ディベロップメント委員会委員、大阪大学出版会出版委員会委員、社会技術共創研究センター兼任教員、歯学部附属病院アドバイザー委員会委員を担当した。
- [部内委員]ファカルティ・ディベロップメント委員会委員を担当した。

【社会貢献】

- ・日本法哲学会・理事長(2021年11月20日より)
- ・日本学術会議連携会員